

## 人材育成担当職員とフォローアップ研修による人材定着の為の取り組み

社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団（大阪府）

**住 所** 〒 562-0012  
大阪府箕面市白島三丁目 5 番 50 号

**T E L** 072-724-8166

**U R L** <http://www.osj.or.jp/>

**経 営 理 念** 利用者個人の意思及び人格を尊重し、その尊厳を守るとともに、自立した支援に向けた質の高いサービスの提供を通じて、活力ある高齢社会及び人権が尊重される社会の実現に積極的に寄与することを経営の理念とする。

**事 業 内 容  
及 び 定 員**

- 特別養護老人ホーム（50名～120名） 7ヶ所
- 地域密着型特別養護老人ホーム（29名） 4ヶ所
- 軽費老人ホーム（50名～100名） 4ヶ所
- 養護老人ホーム（50名～150名） 3ヶ所
- 居宅介護支援 11ヶ所
- 訪問介護 9ヶ所
- 訪問入浴 2ヶ所
- 通所介護（15名～45名） 12ヶ所
- 短期入所生活介護 11ヶ所
- 特定施設入居者生活介護 5ヶ所
- 定期巡回随時対応型訪問介護看護 1ヶ所
- 認知症対応型通所介護 4ヶ所
- 小規模多機能型居宅介護 3ヶ所
- 認知症対応型共同生活介護 4ヶ所
- 居宅介護・重度訪問介護 7ヶ所
- 短期入所 5ヶ所
- 生活介護 7ヶ所
- 移動支援 2ヶ所
- 地域活動支援 1ヶ所
- 日中一時支援 4ヶ所
- 就労継続支援A型（10名） 2ヶ所
- 就労継続支援B型（10名、25名） 2ヶ所
- 相談支援事業 3ヶ所

企業主導型保育事業（12名、19名） 2ヶ所  
診療所 10ヶ所  
地域包括支援センター6ヶ所  
介護予防支援6ヶ所  
老人福祉センター 4ヶ所  
多世代交流センター 2ヶ所  
配食サービス 2ヶ所 等

収 入 (法人全体) 平成29年度決算	①社会福祉事業	9,677,616,166 円
	②公益事業	円
	③収益事業	円

職 員 数 (法人全体)	2,334名（非常勤含む） (H30.4.1 現在)
-----------------	-------------------------------

当 面 す る 経 営 課 題	○職員確保・定着・人材育成 ○老朽化施設の今後のあり方 ○予算管理体制の構築
--------------------	--

## 人材育成担当職員とフォローアップ研修による人材定着の為の取り組み

### 1. 取り組みの目的や背景

当法人における職員の確保及び採用は年々難しくなっており、実習生の対応や新規職員への研修等の体制についても、施設の介護職員等が自身の業務をしながら対応する状態で十分に機能しておらず、実習生や新規採用職員等に対して、少しでも安心して働いて頂く環境作りは喫緊の課題でした。

そこで、当法人では、実習生の受け入れ及び指導体制の確立、新規採用職員へのスムーズな採用前・採用時基礎研修の実施やフォローアップ体制など、介護経験が少ない方や新しい環境に不安を抱えている方でも安心して働くことのできる環境を整備するため、平成28年度から「人材育成担当職員」を施設に配置し、(\*) O S J 研修・研究センター（以下「センター」という）の人材育成担当職員とも連携しながら、フォローアップ研修を行っており、人材の確保及び定着に向けての取り組みを行っています。

(\*) O S J 研修・研究センターとは、研修機能（内部研修機能・外部研修機能）、地域啓発機能、研究・開発機能、情報提供機能の4つの機能を持ち、平成26年8月に事務局移転と同時に施設整備を行い設置しています。

### 2. 活動内容

当法人では平成28年4月から人材育成担当職員を12施設中7施設に常勤職員として配置するとともに、センターにおいても人材育成担当職員を配置しそれぞれが連携しながら、職員の確保及び定着に寄与できる取り組みを行っています。人材育成担当職員の実業務内容は以下のとおりです。

#### 人材育成担当職員の業務内容

##### (1) 実習生受入と指導

当法人の「実習指導者マニュアル」に基づいて、実習生の受け入れおよび指導を丁寧に行い、適切な知識及び技術を取得してもらうとともに、実習生に対して実習施設の魅力を伝え将来的に当法人で働いてみたいと思ってもらえるための対応を行います。

##### (2) 自施設での新規採用職員への『採用前・採用時基礎研修』の実施

新たに採用された全ての職員（非正規含む）に対して、基礎的な内容を身に付けてから勤務してもらえるよう研修を実施しています。1日目に法人の理念や人権、接遇、緊急時対応、感染症対応、認知症ケア等からなる『講義』、2日目に食事、入浴、排せつの基本介護技術を学んでもらう『実技』を基本としたプログラムとなっており、介護経験の有無に関わらず、直接支援に携わる職員は必ず2日間の研修を受講していただきます。

この研修では、ただ単に知識や技術を身に着けるだけではなく、グループワークなどを通して意見交換を図ることで、同時期に採用になった職員との交流の場ともなっており、慣れない職場での不安を抱えているのは自分一人ではないと実感することで、少しでも不安軽減を図れる機会にもなっています。

### (3) OSJ研修・研究センターと連携して行う『フォローアップ研修』の実施

人材育成担当職員は、自施設における新たに採用された職員の情報や介護技術や精神面での不安を抱えている職員の情報を、OSJ研修・研究センター（以下「センター」という）に報告し、その報告をもとにセンター職員が3日間の（\*）フォローアップ研修を行います。人材育成担当者は、そのフォローアップ研修の報告書を参考にしながら、自施設職員へのOJT等を継続的に行い、その結果をセンターに報告しています。

\*『フォローアップ研修』とはOSJ研修・研究センターの人材育成担当職員が、施設からの情報等をもとに施設に伺い、一人ひとりと普段の業務を通して何か困っていることはないか、不安なことはないか等お聞きしながら、分からないことや自信のない業務があれば、その場で実践を通して指導・助言を行う研修のことです。特別養護老人ホーム等では食事、排せつ、入浴の実際の介助の場面を確認し、適宜必要な指導・助言を行います。訪問介護員については、ご家族やケアマネの同意が得られれば、ご自宅に同行を行い必要な指導・助言を行います。また、栄養士や機能訓練指導員、主事等の事務職、送迎などの技術員に対してはフォローアップ面談（個別面談のこと）も行い、不安の解消、解決できない悩み等については所属施設長等にも情報提供を行い対応しています。

### (4) 自施設内、他施設内研修の講師

人材育成担当職員の研修スキルの向上を図るため、自施設や他施設内で行われる「介護職員初任者研修」の講師や生活支援コーディネーターの養成研修の講師、センターで実施している「介護福祉士実務者研修」や地域住民向けの「介護ミニ講座」等の講師も担っています。

#### （課題とこれからの展望）

新規採用職員だけではなく、業務経験はあるが介護技術に不安のある職員への実技指導など、個々の状況に応じた指導方針が必要なため、人材育成担当職員やセンター職員のスキルアップが必要です。また、専門学校等で学んでいる新たな介護技術について、最新の介護技術を常に把握しておく必要もあります。現在、人材育成の大部分をセンター職員が担っている状況ですが、各施設の人材育成担当職員のスキルが向上し、施設内での地位が確立されてくることで、より職員個人に密着した確実でタイムリーな実技指導が可能となるとともに、施設が人材確保及び定着に対しての意識を強く持つことに繋がるものと考えられます。

### 3. 活動の成果

採用前・採用時基礎研修は人材育成担当職員が配置される前からセンター職員が主となり実施しており、法人全体（12施設）対象のため、採用後、タイムリーな研修の参加ができない場合も多かったですが、今は各施設で人材育成担当職員が講師を担っている為、採用後随時実施することができ、タイムリーな参加が可能となっています。研修報告書からも、「採用後すぐに研修を受ける事が出来たことで、不安が少し解消された、また受けたい」など、以前ではなかった意見も聞くことができる様になりました。また、センターが実施するフォローアップ研修とその内容を踏まえての人材育成担当者によるOJT等を行うことで、適時かつ継続的な研修体制が構築できました。なお、採用前研修の受講人数については、人材育成担当職員が配置される以前の平成27年度は述べ141名でしたが、平成28年度は述べ271名と増加してきております。

当法人内において、介護保険法上の基準で定められている以外の人材育成担当職員を7名配置することで、新人職員にとっては、初期の受入れから研修講師、フォローアップ体制等、担当者が一本となったことで、困ったことや不安なことなどをより身近に話しやすい環境になっており、各施設の職員が安心して働き続けてもらうためのきめ細やかな体制作りが行えている。また、センターの人材育成担当者も5名いることで、常日頃のフォローアップ体制の構築、職員の定着や人材育成をする上での悩みや指導方針を共有することにより、職員の負担軽減に繋げることができる体制を構築できています。

今後は、これら取り組みについて実習生から採用試験に繋がった数の分析、新採職員の離職率低下への効果、フォローアップ研修で得られた指導事例の分析から指導マニュアルの作成へと繋げていければと考えています。